

大林 弘堯

Obayashi Hirotaka

日本赤十字社大分県支部
事業推進課
2009年 入社



入社のかっけは？

漠然と「誰かのために仕事をしたい」と考えていたとき、赤十字の求人が目に留まりました。赤十字の存在は以前から知っていましたが、「人道」の理念に基づいて「人間のいのちと健康、尊厳を守る」というミッションステートメントに共感したこと、そして、自分の仕事の先にいる人たちの顔を想像しながら仕事に臨みたいと考えていたので、生まれ育った大分県の赤十字への入社を志望しました。

現在の仕事内容は？

主に災害救護を担当し、災害が発生した際には救護班と呼ばれる医療チームを現地に派遣する調整を行ったり、救護活動の方針を決めるための情報を収集しています。また平時には、救護班のスキルアップのための訓練や研修の企画や、資機材の整備を行っています。

このほか、救急法の講師として、多くの県民の皆様には病気やけがの手当の方法を知っていただくため、指導員の育成も担当しています。仕事内容は多岐にわたりますが、いずれも入社動機だった人道に根差した仕事を受けもっています。

仕事のやりがいは？

色んな方に「ありがとう」と言っていただけることでしょうか。災害救護で被災地を訪れたときも、一番辛いはずの被災者の方から、「来てくれて助かりました。本当にありがとう」と言われたとき、この仕事を選んでよかったと心から思います。私たち赤十字の事業は個人や団体からの寄付による支援で行われていますが、寄付者の皆様から託された「苦しんでいる人を救ってほしい」という思いや期待が、私たちの仕事を介して結実したときに、仕事のやりがいを感じます。

就活生へのメッセージ

私の所属する事業推進課には5名の職員が配属され、少人数で様々な事業をすすめています。少人数なので、常にチームワークを大切にしながら、手を取り合ってよりよい事業を目指して毎日仕事をしています。近年は自然災害が毎年のように発生し、対応する赤十字に対する期待もますます大きくなっています。また、社会情勢も大きく変わる中で、赤十字の事業もよりニーズを捉えられるよう、変革が求められています。現状に満足せずに、新たなアイデアを提案できる方、リーダーシップを発揮できる方、困っている人に手を差し伸べることのできる方、ぜひ一緒に赤十字で働きましょう。